

今こそ持続化補助金活用で 新たな販路開拓・事業展開を目指す!!



Contents

- ・ 寄稿
持続化補助金
効果的な事業計画書作成のポイント…6頁
- ・ 事例① クレバー産業㈱ ……9頁
- ・ 事例② 古家 ……10頁

e & i 経営研究所
代表 高野 浄 氏



(略 歴)
約27年間、家電メーカーで技術、生産、販売、環境分野の経営改革やIT化を推進。2008年独立。開業後は中小企業・小規模事業者の経営戦略、マーケティング、生産改善、ISO、環境経営、省エネ、IT化などを支援。補助金制度の支援経験も豊富。

■はじめに
小規模事業者持続化補助金には、「一般型」と「低感染リスク型ビジネス枠」があります。それぞれの補助対象事業に違いがあることを理解しておく必要があります。「一般型」

寄 稿

持続化補助金 効果的な事業計画書作成のポイント

e & i 経営研究所

代表 高野 浄氏

は販路開拓事業が対象ですが、「低感染リスク型ビジネス枠」は対人接触機会を減少させる新たなビジネスや生産プロセスの改善が対象です。主旨に沿ったストーリーをしっかりと組み立てることが重要です。

■事業計画作成のポイント

「一般型」と「低感染リスク型ビジネス枠」では、事業計画書の様式が異なりますが、共通している部分も多く、以下の7点あるいは8点について記載することになります。それぞれの作成ポイントを見ていきましょう。

この続きは会員事業所
のみご覧いただけます